

Vol. 10.5

# 子どもが創る 多摩市の未来

令和6年度多摩市子ども未来会議 提案への回答集



## Toward the future, 2050



令和7年9月  
多摩市  
多摩市教育委員会



# 提案への回答集 目次

Contents

## 【はじめに】.....1

多摩市

市長 阿部 裕行

## 【令和6年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答】.....2

### ○多摩中学校区

多摩中学校.....3

多摩第一小学校.....4

東寺方小学校.....5

多摩中学校区.....6

コラム①(多摩中学校区).....7

### ○聖ヶ丘中学校区

聖ヶ丘中学校.....9

連光寺小学校.....10

聖ヶ丘小学校.....11

聖ヶ丘中学校区.....12

コラム②(聖ヶ丘中学校区).....13

### ○鶴牧中学校区

鶴牧中学校.....15

南鶴牧小学校.....16

大松台小学校.....17

鶴牧中学校区.....18

コラム③(鶴牧中学校区).....19



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 多摩市民一人一人がまちづくりに 参加しているという意識をもって 行動に移そう

多摩市  
市長 阿部 裕行



令和7年1月に行われた「多摩市子どもみらい会議」では「2050年の多摩市のために私たちにできること～SDGsの達成のために何をすべきか～」をテーマに話し合い、多くの提案と、「多摩市民一人一人がまちづくりに参加しているという意識をもって行動に移そう」という力強いメッセージを発信していただき、ありがとうございました。各学校の提案を一つのメッセージにまとめていくプロセスを見ていて、自分たちに何ができるだろうかと真剣に話し合うみなさんの姿に、頼もしさを感じました。

今回、みなさんからいただいた提案に対し、多摩市として真剣に向き合い、この冊子を通じてお答えさせていただきます。すでに多摩市として取り組んでいるものもあり、みなさんが参加できる取り組みも紹介していますので、関心があればぜひ参加してみてください。

みなさんのメッセージにあるように、一人一人が様々な課題を自分事として受け止め、行動していくことがよりよいまちづくりにつながります。一人ではできないことも、仲間と取り組むことで実現できる場合があります。ぜひ、どんなことでもいいので、2050年の多摩市のためにできることを考え、行動に移してください。私もみなさんに負けないよう行動します。もし、一人では実現できないことがあれば、身近な人に相談してみてください。もちろん、多摩市役所に相談していただいてもよいです。

多摩市では、多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例というルールに基づいて、みなさんがまちづくりに参画することや、挑戦することを後押ししています。これからも、失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしながら、SDGsに取り組んでください。みなさんの活躍を心より応援しています。







# 令和6年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答



多摩中学校



4 質の高い教育を  
みんなに



東寺方小学校



多摩第一小学校



## 多摩中学校区



多摩市立多摩中学校



多摩中学校のE S D



多摩中学校のE S D

## 地域と取組むE S D



環境教育

グローバル人材の育成

防災教育

国際理解教育

環境教育

養蜂活動



## 多摩中学校の提案

①

環境を守りつつ再生可能エネルギーを増やすために小型・中型の風力発電機を多摩市内に置く。

②

多摩市の経済成長や地域との関わりを増やすために、学校で作ったはちみつをネットやコミュニティセンターで販売する。

## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

①について

再生可能エネルギーは地球を守るための大切なエネルギー源で、特に、小型や中型の風力発電機は内陸でも活用できて便利です。しかし、内陸では風が弱いので、効果的な設置場所を見つけることが重要となります。多摩市では公共施設等で風力発電を利用した街路灯を設置していますが、まだ数は少ない状況です。風力発電機を増やすには、騒音や、設置場所・費用のことなど、たくさんの課題がありますが、みなさんからの提案を受けて、様々な可能性について考えていきたいと思っています。そして、みなさんには、これからも風力発電の仕組みを調べたり、風が強い場所を見つけたり、地域の人々にその重要性を伝えたりする活動をしてほしいです。

私たちの地球環境をよりよくするために、みなさんのアイデアを楽しみにしています。

【回答:環境部環境政策課】

②について

生徒のみなさんには、日頃より採蜜などの養蜂活動、せいせき桜まつり、せいせき朝顔市など、イベントでの販売活動に取り組んでいただきありがとうございます。みなさんが地域と関わり、はちみつを販売してくれることが、地域の活性化につながっています。さらに多くの方々に多摩中のはちみつを手にとってもらう方法として、ご提案いただいたコミュニティセンターでも取り扱ってもらえるように、地域の方々と一緒に取り組んでいきます。ネットを活用しての販売については、様々な課題を解決する必要があると考えますが、将来的な実現を目指して、市としても、生徒のみなさん、地域の方々と一緒に検討していきたいと思っています。

【回答:教育部教育指導課】



多摩市立多摩第一小学校  
Tama City Tamadaiichi Elementary School

エネこやの体験を通して学んだこと

省エネ  
+  
再エネ

→これからの環境に優しく、  
住みやすい未来を作る  
キーワード💡



## 多摩第一小学校の提案

①

- ・再エネと省エネを組み合わせしていく。
- ・太陽光パネルの設置
- ・振動発電（聖蹟桜ヶ丘駅前）
- ・LED 電気の利用

②

- ・再生可能エネルギーで走るバスの運行

## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

①について

多摩市では再生可能エネルギーや省エネルギーを進めていくために、太陽光パネル（再生可能エネルギー）や LED 電気（省エネルギー）を導入するときにお金の補助をしています。補助の内容については 7 ページのコラムにくわしく書いてありますので、ぜひ見てみてください。また、振動発電については、多摩市としても今後情報を取り入れながら検討していきたいと考えています。みなさんには、これからも再生可能エネルギーや省エネルギーの大切さを広めていってほしいです。みんなで一緒に持続可能な未来を目指して頑張っていきましょう。

【回答：環境部環境政策課】

関連コラム：7ページ

②について

再生可能エネルギーで走るバスについては、再エネ電力を使って走る電動バス（EV バス）や、再エネ電力で作った水素を使って走る水素バス（FC バス）などがあります。既に、国内で実験的に運行していたり、実際に走っているものもありますので、多摩市でも実現できるかの検討をしていかなければならないと考えています。現在は、すごくお金がかかるものですが、より社会に普及するように、みなさんも引き続き研究し、情報を発信してってください。

【回答：都市整備部道路交通課（交通対策担当）】



## 子どもみらい会議

2050年の多摩市のために私たちにできること  
～SDGsの達成に向けて何をすべきか～



多摩市立東寺方小学校 6年



## 東寺方小学校の提案

電気をなるべく使わず夏の体育館を使いたい。  
(ブラックカーテンや水力発電を使ったクーラーの活用)



## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

ご提案をいただいている、エネルギーに頼り過ぎずに体育館を使っていくことは、CO2削減など環境的にとても優しい取り組みであると考えます。

気候変動や夏の暑さ対策には様々な方法がありますが、多摩市では夏の体育館に外から熱が入りにくくする方法など、検討を進めているところです。

これからも環境への意識を高く持ち、アイデアをいただければと思います。

【回答:教育部教育振興課】

関連コラム:7ページ

# 多摩中学校区



多摩中学校のE S D

**環境教育**

**グローバル人材の育成**

**防災教育**

**国際理解教育**

エネこやの体験を通して学んだこと

**省エネ**  
+  
**再エネ**

→これからの環境に優しく、  
住みやすい未来を作る  
キーワード💡



## 多摩中学校区の提案

地域の人たちと共に協力したりよりよいものを作るために協力したりして、省エネについて広めたりして地形を生かした発電を行う。

## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

地域の人たちと協力し、省エネを広める取り組みや、地形を生かした発電について考えることはとても重要です。特に太陽光発電は、地域の特性を生かしながら持続可能なエネルギーを生み出す方法の一つです。多摩市では現在、太陽光発電事業等への補助を行っており、この取り組みを通じて地域の環境保護に役立て、よりよい未来を目指しています。

また、市民団体や企業・学校・行政が力を合わせ「多摩エコフェスタ」という取り組みもおこなっています。ぜひ参加して、様々な立場の人たちからもアドバイスをもらい、提案を一緒に実現させていきましょう。

地球環境を守り、地域を発展させるために、みなさんの柔軟な考えや発想が必要です。一緒に知恵を出し合い、よりよい未来を創っていきましょう。

【回答:環境部環境政策課】

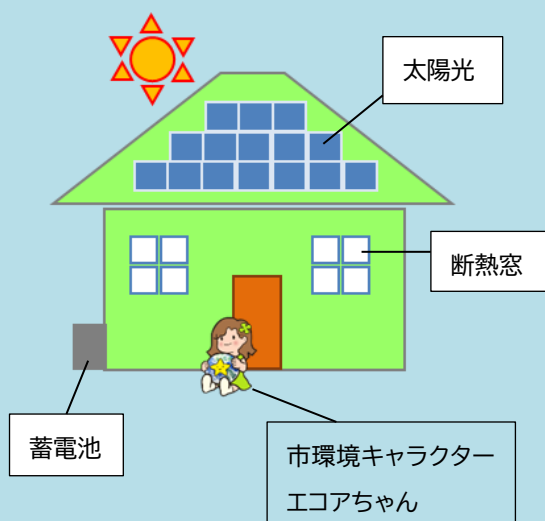
関連コラム:7ページ

## コラム①

# 多摩市や地域の取り組み紹介

多摩中学校区のみなさんからの提案に関連する多摩市や地域の取り組みを紹介します。  
ぜひ、今後のESDの取り組みの参考にしてください。

### 環境に関する補助制度について



多摩市では、市内の住宅や事業所に以下の機器を設置した場合に、費用の一部を補助しています。再エネ、省エネ機器の設置費用の一部を補助することで、脱炭素社会の実現および地球温暖化防止に向けた取り組みを支援しています。

#### 市民向け

太陽光・蓄電池、断熱窓、ソーラーカーポート

#### 事業者向け

太陽光、ソーラーカーポート、高効率空調機器、高効率照明機器

関連ページ: 4, 6, 10, 12 ページ

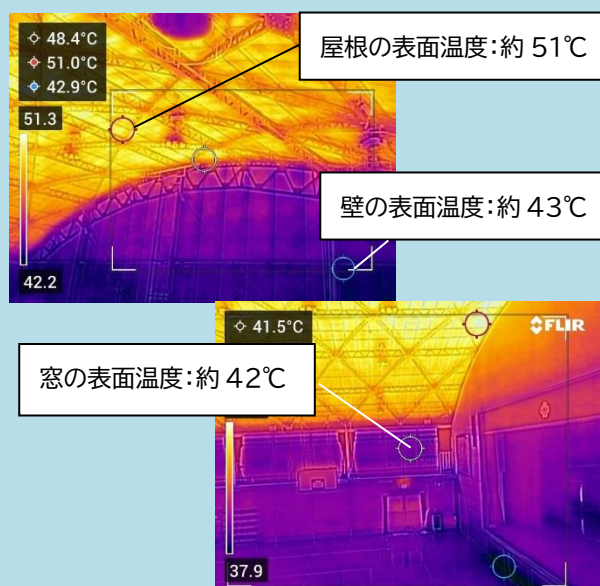
### 学校体育館の暑さ対策について

多摩市教育委員会では、学校体育館の気候変動による夏の暑さ対策に取り組んでいます。

体育館内にどこから暑さが入り込んでいるかを把握するため、赤外線カメラを使用して屋根面、壁面、窓面の表面温度を測定したところ、屋根面が最も高いことを確認しました。

そのため、まずは屋根面から室内に流入する熱を遮ることで、体育館内の温度上昇を防ぐことができると考えており、具体的な取り組みに向けた検討を進めています。

関連ページ: 5ページ







# 令和6年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答



聖ヶ丘中学校



11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう



聖ヶ丘小学校



連光寺小学校



## 聖ヶ丘中学校区



聖ヶ丘中学校では、、、

将来の多摩市・SDGsについて  
考え繋げながらESDの学習に取り組む

## 誰でもトイレ

### 良いところ

- 車椅子の人でも入りやすく座るための手すりがついている
- 呼び出しボタンに紐が付いている
- 音声ボタンや配管が低い方でもできるようにしている



## 学校の様々な場所を調査

- 誰でもトイレ
- 体育館
- 階段など

車椅子を使い  
段差を登って  
感じたこと、、、

## 体育館

### 良いところ

車椅子の人でも  
登りやすいスロープがある



### 問題点

車椅子では一人で登りにくいところがある

### 改善点

段差があると登りにくいので  
段差をなくす。



障害のある人や高齢者の方と、  
日常的な繋がりを持つ



地域社会の繋がりを市民一人一人が  
意識した地域が自然災害にも  
強い環境豊かな地域作りに繋がる。

## 聖ヶ丘中学校の提案

多摩市全体で緊急時の助け合いや市でのつながりを作るために、地域ごとに障がいのある方や高齢者の方々などとの多様な繋がりを日常的に強める取り組みをする。(例 ブラスバンドを通して交流、地域清掃、マラソン大会、挨拶運動)



## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

多摩市としても、ご提案のような、地域ごとに多様な世代の市民がつながり合える場や機会をつくっていくことが必要だと考えています。様々な世代に呼びかけて、「エリアミーティング」というワークショップを開催し、その場で出たアイデアを地域で実践してみるという取り組みも始めていますので、機会があれば、みなさんもぜひ参加してみてください。

【回答：協創推進室】

関連コラム：13ページ

今カラ カエル 未来  
～連光寺小学校～



(2) 「再生可能エネルギー」について「聞く」



専門家の講義



目標は、再エネ100%達成！！

多摩市に提案したいこと

町発電

環境に優しい  
エコな街づくり



## 連光寺小学校の提案

再生可能エネルギー100%を目指すために、まち発電を行う。

## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

多摩市では太陽光発電などを設置するときにお金の補助をして、地域の中でエネルギーを生み出す取り組みを進めています。

みなさんにはぜひ以下の取り組みに挑戦してほしいと思います。

- ①知識を広め、友達や家族に再生可能エネルギーの重要性を伝える。
- ②学校や地域における太陽光発電のアイデアを考えてみる。
- ③エコ活動や清掃活動にも参加し、環境を守るために力を合わせる。

未来のために一緒に行動していきましょう。

【回答:環境部環境政策課】

関連コラム:7ページ

6年 総合的な学習の時間

## 未来の聖ヶ丘



多摩市立聖ヶ丘小学校

課題【活気が足りない】  
取組 スタンプラリー  
ウォーキングイベント



これからも大切にしたいこと

- 聖ヶ丘小の伝統である「プラスバンドを継承」すること
- 地域の方との関わりの場を設けること
- 自分たちの手で、住みやすい町をつくること

## 聖ヶ丘小学校の提案

過ごしやすいまちをつくるために、安心安全なまちづくりに取り組む。

例として、

- ①障がい者の理解を深める取り組み、
- ②(交通)事故に対する意識を高める活動、  
継続的なスタンプラリーイベントなど。

## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

### ① について

多摩市では、令和5年3月に障害理解のための冊子「こころつなぐ・はんどぶっく(わかりやすい版)」を作成しました。学校のタブレット端末からも見ることができますので、ぜひ見ていただき、できるところから取り組んでいただけると嬉しいです。また、小学校への出前授業である多摩市福祉交流会「障がい者とともにひとときの和」や、12月には「ぱらあーと多摩市みんなの美術作品展」も行っています。障がいのある方への理解を深める機会として、ぜひ積極的にご参加ください。

【回答:健康福祉部障害福祉課】

関連コラム:13ページ

### ② について

多摩市では、交通安全に対する意識を高める活動として、市内の小学校1、2年生、幼稚園・保育所に通う児童を対象に交通安全教室を実施しています。また、市内の中学生を対象にプロのスタントマンが交通事故の再現をするスケアードストレイトも実施しています。今後も継続して行う予定ですので、みなさんもぜひ参加していただき、交通安全に対する意識を高めていってください。

【回答:都市整備部道路交通課(交通対策担当)】



## 聖ヶ丘中学校校区

障害のある人や高齢者の方と、  
日常的な繋がりを持つ

地域社会の繋がりを市民一人一人が  
意識した地域が自然災害にも  
強い環境豊かな地域作りに繋がる。

目標は、再エネ100%達成!!!

多摩市に提案したいこと

町発電

環境に優しい  
エコな街づくり



これからも大切にしたいこと

- 聖ヶ丘小の伝統である「プラスバンドを継承」すること
- 地域の方との関わりの場を設けること
- 自分たちの手で、住みやすい町をつくること

## 聖ヶ丘中学校校区の提案

地域の特色を生かした発電  
各地域内での日常的な交流  
(スタンプラリーや挨拶運動など)



市民の安心安全が続く街を目指す  
(緊急時に強く持続的な環境保全)

## みなさんからの提案に多摩市が答えます!

地域の特色を生かした発電については、多摩地区の自然豊かな環境を生かした太陽光発電などが考えられます。みんなで環境について学びながら、再生可能エネルギーの必要性についてこれからも考えていきたいと思えます。

また、緊急時に備えた安全なまちを作るためには、蓄電池を設置したり、地域のイベントに参加したり、みんなで防災を考えたりすることが大切です。

多摩市では再生可能エネルギーを進めるためにサポートをしていますので、ぜひ一緒に取り組んでいけると嬉しいです。

そのほか、地域ごとに多世代の交流が生まれるような「しくみ・しかけ」の一つとして、スタンプラリーやポイント制度についても今後検討していきたいと考えていますので、引き続きみなさんからのアイデアをお待ちしています。

【回答:環境部環境政策課、協創推進室】

関連コラム:7, 13ページ

## コラム②

# 多摩市や地域の取り組み紹介

聖ヶ丘中学校区のみなさんからの提案に関連する多摩市や地域の取り組みを紹介します。  
ぜひ、今後のESDの取り組みの参考にしてください。

### 協創の取り組みについて



エリアミーティング開催の様子

#### 誰もがつながり合えるコミュニティをともにつくろう

協創とは、「多世代にわたる参画及び多分野における協働が創出されることで、誰もがつながり合えるコミュニティが形成され、これが広がりをもつことによって、様々な地域課題の解決が図られるとともに、新たなまちの魅力及び地域の価値が創造されること」をいいます。(多摩市自治基本条例より)

子どもからシニア世代まで、子育て中や働きながらでも、また、従来は支えられる立場にあった人たちも含めて「誰もが」つながり合って、まちづくり活動に楽しく参加できるような「しくみ・しかけ」の整備を目指し、地域住民がアイデアを持ち寄り実践するエリアミーティング等に取り組んでいます。

関連ページ: 9, 12 ページ

### 障がい理解の取り組みについて

#### 「ばらあーと多摩市みんなの美術作品展」

毎年12月に、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる美術作品展をパルテノン多摩で開催しています。

#### 多摩市福祉交流会「障がい者とともにひとときの和」

毎年小学校2校に訪問し、体育館等で講話や体験会(車いす・手話等)を実施しています。

#### 「差別解消支援地域協議会」

差別を解消するための必要な取り組みの検討などを行っています。

その他にも、障がい者理解のための冊子「こころつなく・はんどぶっく」の活用、市職員への研修など様々な取り組みを行い、障がい理解を進めています。

関連ページ: 11 ページ







# 令和6年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答



 **鶴牧中学校** 

**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう




 **大松台小学校** 



 **南鶴牧小学校** 

## 鶴牧中学校区





多摩市立鶴牧中学校

## 鶴牧中学校のSDGs



更なる高みを目指して

## 鶴牧中学校の提案

多摩市では高齢化が進んでいるため、様々な世代の方が関わり合えるようなイベントを行う。例えば、昔遊びを通じた子どもと高齢者の関わりなど。



## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

多摩市には、エリアごとにコミュニティセンター、コミュニティ会館という施設が現在11カ所あります。そこでは、おまつりやイベントなどを通して、多世代が交流できる事業を行っています。今後も、高齢者のみなさんと大学生、中高生、子どもたちが交流できる機会を多く持っていくので、みなさんもぜひ参加してみてください。

【回答：協創推進室】

クールジャパンプロジェクト  
～日本の食文化から  
食品ロスについて考える～



ほとんどの食缶が  
空！！

## 成果と課題

～成果～  
どの学年も食品ロスをに興味をもち、減らすことができました。

～課題～  
食品ロスを減らさなくちゃいけないという気持ちをずっと持ち続ける事は難しいです。一人一人がこれからも意識し続けられるようにしていきたいです。

## 南鶴牧小学校の提案

食品ロスを減らすために（給食の）食べ残し食材を学校にいる動物のえさにし、環境に配慮する。その取り組みをインターネットで発信したり、楽しめる活動ができる  
とよい。

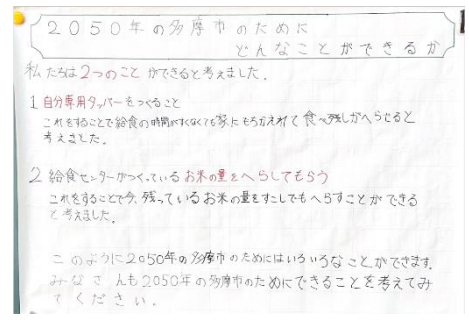
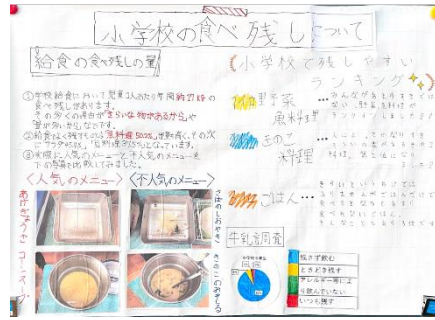
## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

一部の学校では、給食センターで調理するときに出た野菜の外側の葉や皮、芯などの、動物が食べられる野菜くずを受け取って、ヤギやウサギのえさにしています。インターネットで取り組みを発信することは、食品ロスについて考えるきっかけになりそうですね。発信の仕方やどんな活動ができるか、アイデアを考えて取り組んでいただけたらうれしいです。

一方で、給食はみなさんの健康や成長に必要な栄養成分を満たした食事なので、まずは残さずに食べることを優先してほしいです。みなさんの健康は、持続可能な社会を創ることに深く関連します。自分たちの健康と地球環境のために、引き続き、食べ残しを減らすことにも取り組んでみてください。

【回答：教育部学校給食センター】

関連コラム：19ページ



## 大松台小学校の提案

- ① (給食の食べ残しを減らすために、) 給食センターで作っているお米の量を減らしてもらおう。
- ② 好き嫌いは個人差があることを考え、楽しく食べたり取り組んだりする工夫があるとよい。

## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

① について  
 実は、ご飯が多く残るとい意見もある一方、足りないという意見もあります。給食センターでは一度に約100~400クラス分のご飯を注文しているため、クラスごとに食べられる量に合わせて注文することが難しいのが現状です。例えば、クラスで残っている量を伝えて、食べられるクラスに分ける取り組みをしている学校もあるそうなので、調べてみてください。また、給食センターでも、ご飯屋さんに相談したり、注文の方法を変えられないか考えたりしてみようと思います。そして、給食はみなさんの成長や健康を維持するために必要な栄養がとれるように考えられているので、自分のために残さず食べることも大切にしてほしいです。特に、主食は重要なエネルギー源です。おかずと交互に食べると白いご飯も食べやすいので、ぜひ試してみてください。

【回答:教育部学校給食センター】

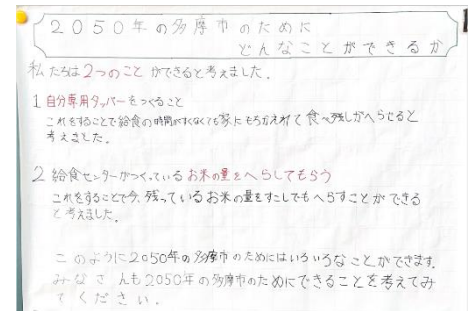
② について  
 毎日の給食には、みなさんの成長や健康の維持に必要な栄養素が詰まっています。苦手だからと一口も食べずにゴミにしてしまうのではなく、楽しくチャレンジする工夫をしてみるのはいいですね。どうしたら楽しく食べられるかを具体的に考えて、ぜひ実践してみてください。時間内に食べきれずに残してしまう場合もあるので、準備時間の目標を立てて、チャレンジしてみてください。

【回答:教育部学校給食センター】





## クールジャパンプロジェクト ～日本の食文化から 食品ロスについて考える～



## 鶴牧中学校区の提案

多摩市の課題は、高齢化が進んでいること、世代間の交流が少ないこと、食品ロスが多いことなので、これらを解決するために、多摩市が行う「家族体験農業」というイベントをもっと宣伝していくことを提案します。

農家の方の苦労や食品ロスについてのクイズをしたり、実際に農業の体験を行ったりするイベントです。



## みなさんからの提案に多摩市が答えます！

市で行っている「家族体験農業」は農業委員会と児童館が共催で平成5年度から実施している事業です。子どもたちとその家族が、土とふれあい、自分で栽培・収穫した野菜のおいしさを知るなど、農業について理解してもらうことを目的としています。また、事業の参加者が農家の苦労や、食品ロスについて考えるきっかけにもなっています。

これからも農業委員会と児童館が協力して、「家族体験農業」を知っていただけるように、情報を発信し、多くの方が参加できるように取り組んでいきます。ぜひ、みなさんも「家族体験農業」に参加してみませんか。

【回答：市民経済部経済観光課】

関連コラム：19ページ

## コラム③

# 多摩市や地域の取り組み紹介

鶴牧中学校区のみなさんからの提案に関連する多摩市や地域の取り組みを紹介します。  
ぜひ、今後のESDの取り組みの参考にしてください。

### 学校給食における食品ロスの取り組みについて



調理の時に捨ててしまう野菜の外側の葉や皮、芯など(写真右上)を、ヤギやウサギのえさにしている学校があります。ヤギの写真は、以前、連光寺小学校のみなさんからいただいたものです。おいしそうに食べている様子を手紙で教えてくれました。

野菜くずや水分が少ない食べ残し(写真左下)は、業者に回収してもらい、堆肥に変えています。この堆肥は、学校をはじめ市内で使われています。

給食センターでは、どうしても捨てることになってしまった場合の取り組みを行っています。みなさんも、給食をしっかり食べて、食品ロスと一緒に減らしていきましょう。

関連ページ: 16ページ

### 家族体験農業について

多摩市では、市民のみなさんに農業を知っていただくための取り組みとして、市内の児童館(永山、諏訪、連光寺、一ノ宮、東寺方)や市内の農地所有者、農業委員会が協力して、家族体験農業を実施しています。

家族体験農業では、参加者がサツマイモや落花生などの植付けや、除草・観察会、収穫、農家との交流会などを実施します。

関連ページ: 18ページ









子どもが創る 多摩市の未来  
 令和6年度多摩市子ども未来会議  
 提案への回答集

Vol.10.5

多摩市立小・中学校は、全ての学校がユネスコスクールに登録しています。